



新型コロナウイルス対応の課題解決！ そして次年度の教育課程編成に向けて



いよいよ2学期が始まった。子供たちがいる学校は最高～！でも…授業時数が心配だなあ～。

次年度の教育課程編成に向けてカリキュラム・マネジメントを活かしたいけど・・・。

1 「カリキュラム・マネジメント」で課題を解決、そして教育活動の充実を図りましょう！

2学期開始にあたって、①授業時数の確保のため「カリキュラム・マネジメント的思考（教科等横断的）の視点を用いた工夫」をしてみたいかがでしょうか。

また②「カリキュラム・マネジメント」とは学校の教育目標実現のために求められているものであり、次年度の教育課程編成に活かし教育活動の充実につなげる上で大切な視点です。

① ②のそれぞれについて、事例を紹介します。ぜひ参考にしてください。

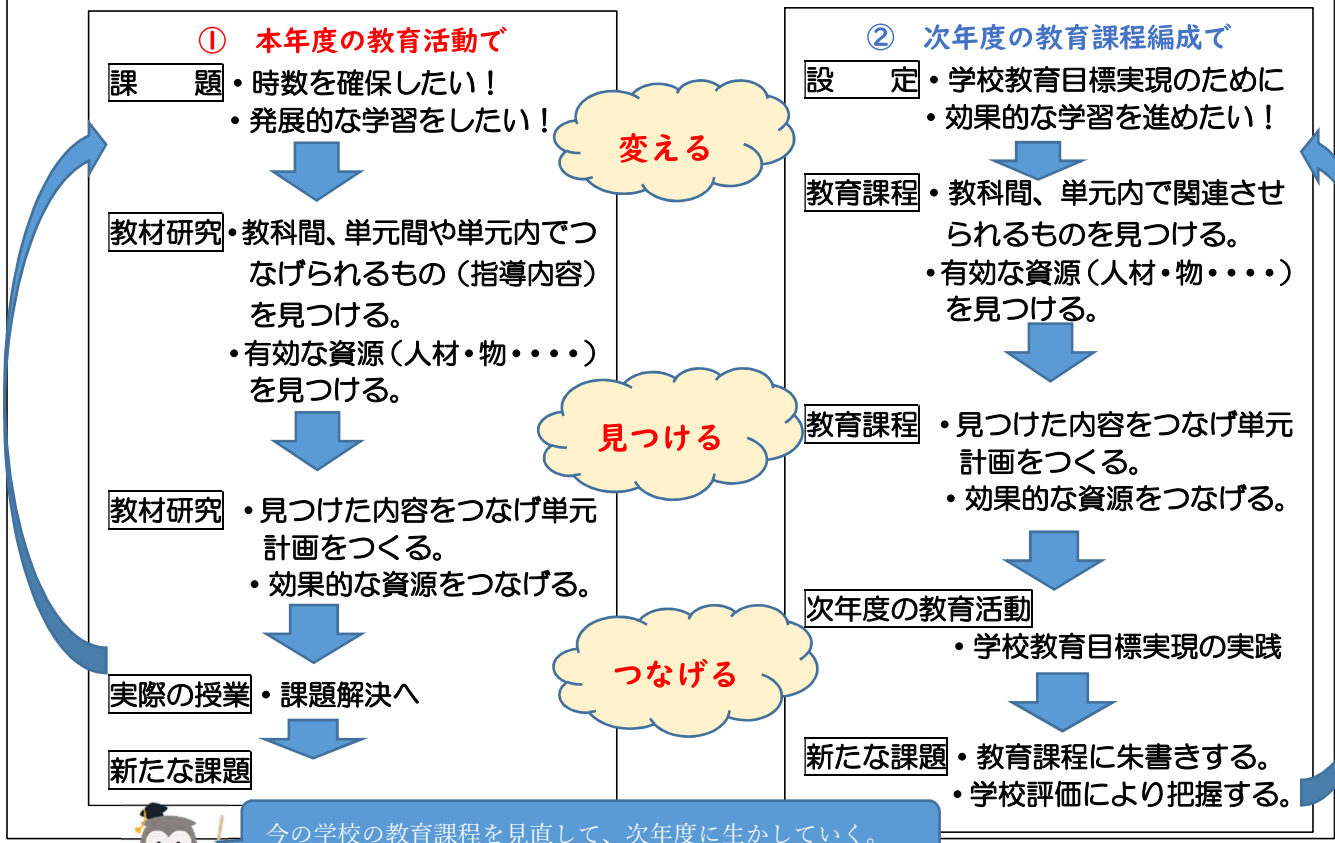
カリキュラム・マネジメント【学習指導要領 総則より】

- ◎教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと
- ◎言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる**資質・能力**を育成していくこと
- ◎豊かな人生の実現や災害等乗り越えて次代の社会を形成することに向けた現代的な諸課題に対応して求められる**資質・能力**を、教科等横断的な視点で育成していくこと

2 「カリキュラム・マネジメント」のポイント

～出典・教職員支援機構「学校組織マネジメント研修」をもとに～

合言葉は「**変える**」・「**見つける**」・「**つなげる**」



今の学校の教育課程を見直して、次年度に生かしていく。

3 事例の紹介

事例①：時数の確保が課題となる場合のカリキュラム・マネジメント例 (小学校3年 総合的な学習の時間+算数科+国語科)

～授業のイメージ～

算数科	総合的な学習の時間	国語科
課題解決(処理) ○○調べのグラフをつくろう！	課題 地域の○○について調べよう！ ・調べ活動 ◆この時間分を他の時間の指導や、他の資質・能力を高める学習に充てる。 2時間	インタビューについては 国語で評価 する。
	調べ活動等 課題について調べる。 ◆この時間分を他の時間の指導や、他の資質・能力を高める学習に充てる。 2時間	インタビュー 知りたいことをきく。 まとめ 分かったことをまとめよう！ 4時間分が使え るようになる。

グラフについては算数で評価する。

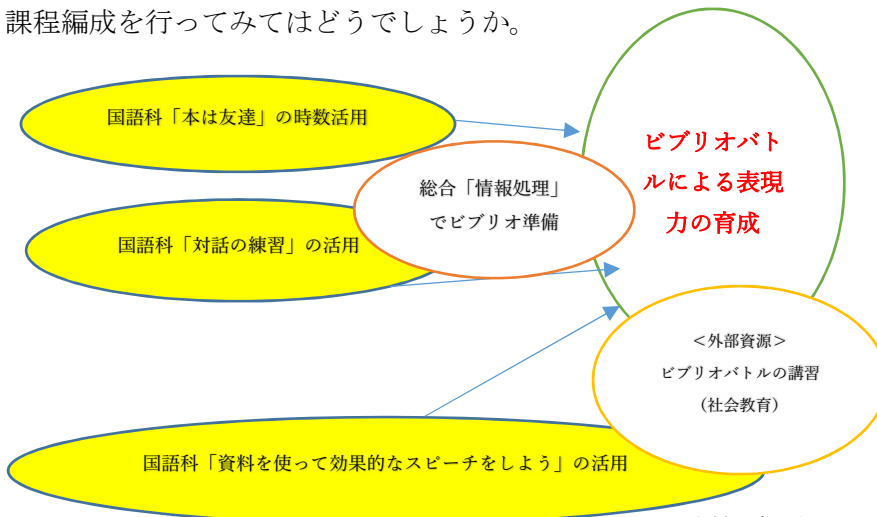
3年生の算数科では「データの活用」で表と棒グラフの学習をします。この時に、総合的な学習の時間で行う地域の学習を生かしてはいかがでしょうか。「地域の特産品を調べる総合的な学習の時間」を柱にして、その学習活動を行う中で、「グラフで表す」活動を取り入れることで、教科等横断的な学習となります。

作ったグラフから「どうして、○○が多いのかな？」と学習を進め、地域を詳しく知る学習につなげます。調べ学習の際、国語科「インタビュー」で知りたいことを聞く学習の時間を活用し、効果的な調べ活動につなげるとともに、まとめの際の時間としても活用することができます。

総合的な学習の時間のうち、グラフ処理の学習とインタビューの学習の時間は、算数科・国語科の時間で確保します。そのため総合的な学習の時間のうち、その時数は計上しなくても学習は成立し、未履修とはなりません。**その時数を新型コロナウイルス対策とすることも可能**であるし、**自校の目指す「資質・能力」を高める時間にあてることも可能**となります。

事例②：「学校教育目標『表現力の育成』実現を柱にカリキュラム・マネジメントした事例」

自校の子供の実態から伸ばしたい資質・能力を「表現力」とした場合、「表現力の育成」を図るために読書に関する指導時数を活用し、ビブリオバトルを位置づけた教育課程編成を行ってみたいはどうか。



- ＜作成の手順例＞
- ①学校で目指す資質・能力を「表現力を高める」とする。
 - ②国語科での取組のゴールとして「ビブリオバトル」を設定する。
 - ③国語科における小単元の時数をビブリオバトルの時間とする。同様に総合的な学習の時間に原稿作成の時数を確保する。
 - ④③が実施可能なように教科等の指導計画を作成する。
- ↓
- 「表現力」を高める一つの取組とする。

※光村図書6年より
この取組の他、自校の教育目標の実現に向けた取組をその他の教科で横断的に企画し、それらを、次年度の教育課程に明記する作業を行い、実践し自校の教育目標の具現化を図っていくことが、カリキュラム・マネジメントです。各校で目指す内容(変える)が異なるので、有効に機能させるための資源の発掘(見つける)を行い、教育課程に位置づける(つなげる)ことが大切になります。

9月10日の教育課程研究協議会でも説明を行いますので、それをもとにぜひ次年度の教育課程編成に取り組んでください。